## 非ホジキンリンパ腫 準1st Line R-THP-COP

患者 I D: **@PATIENTID** 

コース目

患者氏名 : **@PATIENTNAME** 

1 コース:2 1~2 8 日間 目標:6~8 コース

身長(cm)体重(kg)体表面積(㎡)HEIGHT01DoWHEIGHT01Downstream

使用薬剤: リツキシマブ (Rituximab): リツキシマブBS注 100mg/10mL/V、500mg/50mL/V

ピラルビシン(THP-ADM): ピラルビシン注 10mg、20mg/V

ビンクリスチン(VCR): ビンクリスチン注 1mg/V

シクロホスファミド (CPA) : シクロホスファミド注 100mg/V、500mg/V

プレドニゾロン(PSL):プレドニン注 20mg/A、10mg/A、プレドニン錠 5mg

使用基準: CD20陽性のB細胞性非ホジキンリンパ腫

※ Infusion reactionに要注意。リツキシマブBS投与時はモニターによるバイタルチェックを推奨。

重度のInfusion reaction(低酸素血症、肺浸潤、急性呼吸促拍症候群、心筋梗塞、心室細動、心原性ショック) の発現の報告が初回の投与中又は投与開始後24時間以内に多い。約90%の患者で初回投与時に発現。

※ 腫瘍崩壊症候群に要注意(血液中に大量の腫瘍細胞のある患者で初回投与後24時間以内に高頻度)

腎不全、高K血症、低Ca血症、高尿酸血症、高AI-P血症

※ HBc抗体測定し、陽性ならTaqMan HBV検査までおこなうこと

※ ビンクリスチン 最大投与量; 2 mg/bodyを越えないこと

- ※ プレドニン B型肝炎;核酸アナログ製剤を併用、糖尿病;減量もしくは中止
- ※ 65歳以上では全使用薬剤の減量を考慮すること
- ※ 日和見感染症に注意。胃潰瘍 (PPIなど) 、口内炎、便秘の予防について考慮すること

薬剤	投与量	計算値	投与量(mg)	投与日
リツキシマブBS	375 mg/m²	#VALUE!		1
ピラルビシン	$50~\text{mg/m}^2$	#VALUE!		2
ピ゛ンクリスチン	1.0 mg/body		1.00	2
シクロホスファミト゛	$500~{ m mg/m}^2$	#VALUE!		2
プレドニン	<b>50</b> mg/m²	#VALUE!		2 ~ 6

<< タイムスケジュール >> <u>リツキシマブBS、THP-COPの開始時刻を別々に入力してください</u>

※記載している時刻は例です。当日の投与予定時刻ではありませんのでご注意ください。

開始日(Day1); 1月7日 (金)

点滴前内服

① カロナール錠200mg2T

1 x (1)

ポララミン錠2mg1T

1 x (1)

0時00分

1 生理食塩液 100mL + サクシゾン 300mg

30分で点滴静注

0時30分

5%ブドウ糖液

0mL

+ リツキシマブBS注

Omg O. OmL

↓ 患者の状態を観察しながら、30分毎に50m L/h r ずつ上げることができる

↓ 最大400m L/h r まで上げることができる

徐々に投与速度を上げて点滴静注

## ※下記は2回目以降の投与

- ↓ 100m L/h r で30分点滴静注
- $\downarrow$  患者の状態を観察しながら、30分毎に100m L/h r ずつ上げることができる
- ↓ 最大400m L/h r まで上げることができる

3 生理食塩液 50mL

フラッシュ

<く <b>タイ.</b> Day 2	ムスケジュー. 1月8日		
0時00	分 1	生理食塩液 50mL + グラニセトロン 1 A + プレドニン注 <b>0</b> mg	
0時15	分 2		
0時20	分 3	全開(5分以内)で点滴静注 5%ブドウ糖液 50mL + <b>ピラルビシン注 Omg</b>	
0時30	分 4	全開(10分以内)で点滴静注 生理食塩液 50mL	
0時35	分 5	5分で点滴投与(全開) 生理食塩液 250mL + <b>シクロホスファミド注 Omg</b>	
2時35	分 6	2 時間で点滴静注 生理食塩液 50mL	
		フラッシュ	
<b>D</b> ay 3 ∼	6 1月	月9日 (日) ~ 1月12日 (水)	

REFERENCE

Mayumi Mori, Kiyoshi Kitamura, Michihiko Masuda, et al. Int J Hematol.2005;81:246-254 Long-term rusults of a multicenter rondomized, comparative trial of modified CHOP veusus THP-COP regimens in erderly patients with non-Hodgkin's lymphoma.

2011年化学療法プロトコール審査委員会承認: 2011年2月14日 更新: 2018年9月10日